

患者の皆様へ

婦人科でのコルポスコープ検査での3%酢酸の使用について

東千葉メディカルセンター産婦人科では子宮頸がん検診で異常を指摘された患者さんの精密検査を行っております。その際に子宮頸部を3%酢酸で塗布しコルポスコープという拡大鏡で観察し、性状や病変を確認して組織を採取しています。この手法は日本、世界で広く行われている方法です。しかし3%酢酸は処置薬として一般発売されているものではなく各病院で調整している薬です。3%酢酸は病変の正確な把握と、組織採取に必要であり、代替薬はありません。また有害事象にかんしてもほとんど報告されていません。

当院の子宮頸部病変の精査で3%酢酸使用を希望されない患者さんは担当医にお伝えください。またこれまで当院に子宮頸部病変のフォローなどで通院中の患者さんはご不明な点があれば担当の医師にお尋ねください。

☐ 3%酢酸を使用しての子宮頸部酢酸加工での効果、および副作用

綿球などを3%酢酸に浸し、それで子宮頸部を拭う、ひたすことで子宮頸部の異常病変を観察が可能になります。副作用に関しては特にありませんが人によっては軽度のしみる感覚があるようです。

☐ 3%酢酸を使用しない場合の代替処置

3%酢酸の代替薬は現状ありません。子宮頸部の組織採取は可能ですが、正確な病変が採取できない可能性があります。

☐ 費用負担

3%酢酸の費用負担はありません

☐ 健康被害が生じた場合

3%酢酸使用での有害事象の報告は現在までみられませんが、もし何か変わったことがあれば申し出てください。保険診療に則り対処いたします。

連絡先

東千葉メディカルセンター 婦人科外来、担当医